

現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月4日	
NO	1
場所	敷地
部位	全景



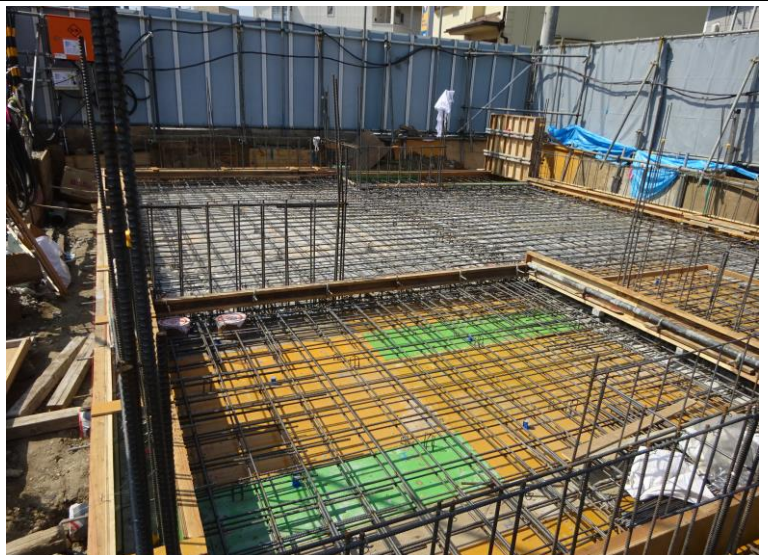
令和5年4月4日	
NO	2
場所	AB棟 (BX 4~6 通り)
部位	1階床面

1階床スラブの配筋 (施工) 状況。



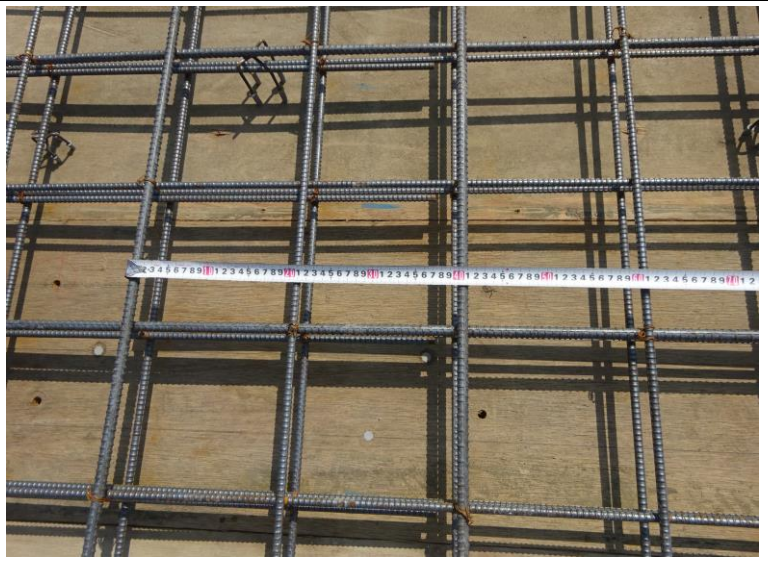
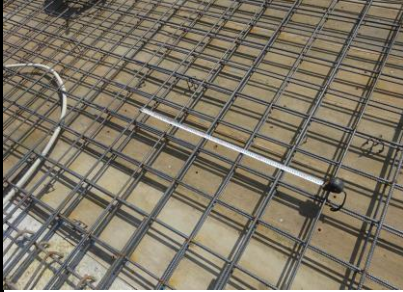
令和5年4月4日	
NO	3
場所	AB棟 (BX 4~6 通り)
部位	1階床面

同上。



現況検査により認められる状況の記録

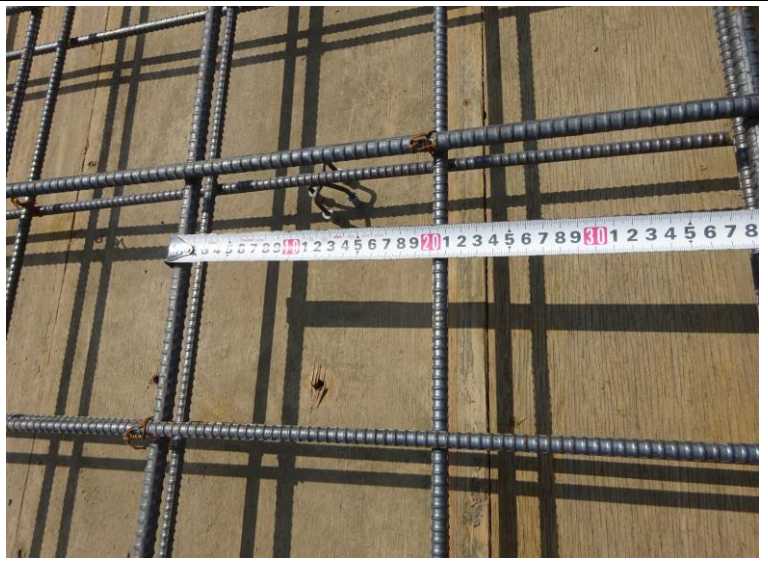
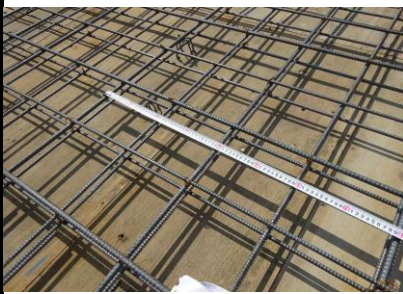
令和5年4月4日	
NO	4
場所	AB棟 (BX 4～6 通り)
部位	床スラブ (S3)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋D10・D13@200mmチドリ (縦横共)	



令和5年4月4日	
NO	5
場所	AB棟 (BX 4～6 通り)
部位	床スラブ (S3)
同上。	

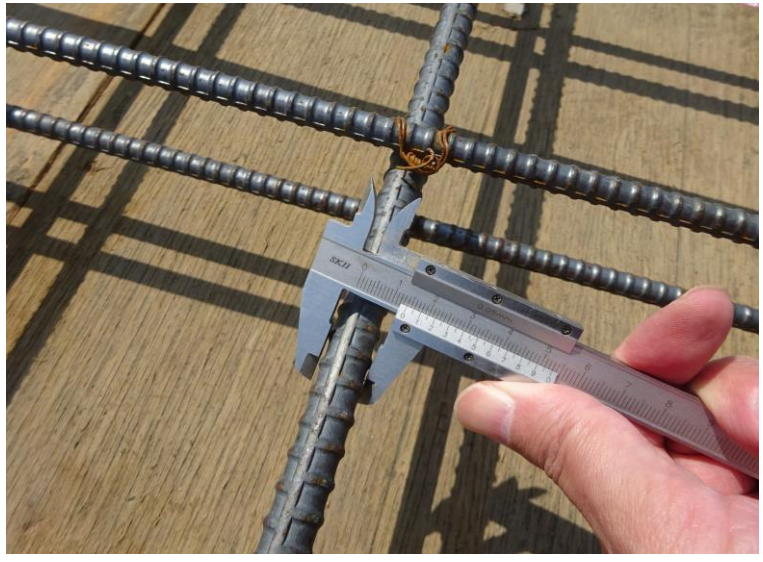


令和5年4月4日	
NO	6
場所	AB棟 (BX 4～6 通り)
部位	床スラブ (S3)
同上。	

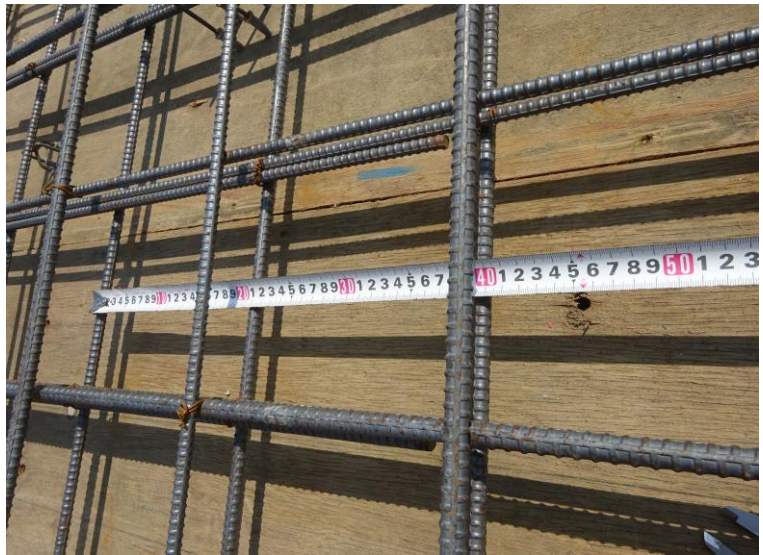


現況検査により認められる状況の記録

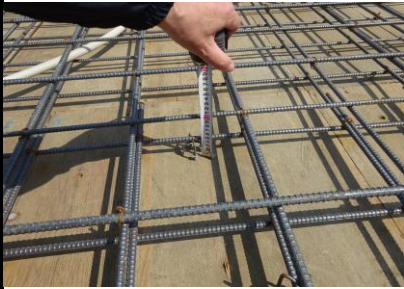
令和5年4月4日	
NO	7
場所	AB棟 (BX 4～6 通り)
部位	床スラブ (S 3)
同上。	



令和5年4月4日	
NO	8
場所	AB棟 (BX 4～6 通り)
部位	床スラブ (S 3)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。下端筋D10@200mm (縦横共)	


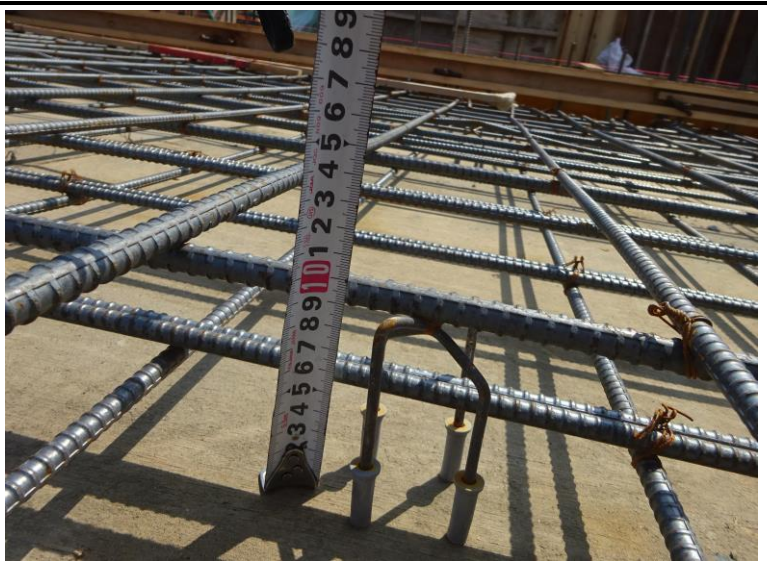


令和5年4月4日	
NO	9
場所	AB棟 (BX 4～6 通り)
部位	床スラブ (S 3)
スラブ下面の鉄筋かぶり厚さ (20mm以上) が確保されるようスペーサー (下端筋用) が設置されていることを確認。	




現況検査により認められる状況の記録


令和5年4月4日	
NO	10
場所	AB棟 (BX 4～6 通り)
部位	床スラブ (S3)
スラブ上面の鉄筋かぶり厚さ (20mm以上)、及び、鉄筋間の空き (25mm以上) が確保されるようスペーサー (上端筋用) が設置されていることを確認。	

令和5年4月4日	
NO	11
場所	AB棟 (BX 4～6 通り)
部位	床スラブ (S3)
基礎梁上部位置の定着長さ (L2: D13×35 = 455mm以上) が計画 (施工図) 通りに確保されていることを確認。	



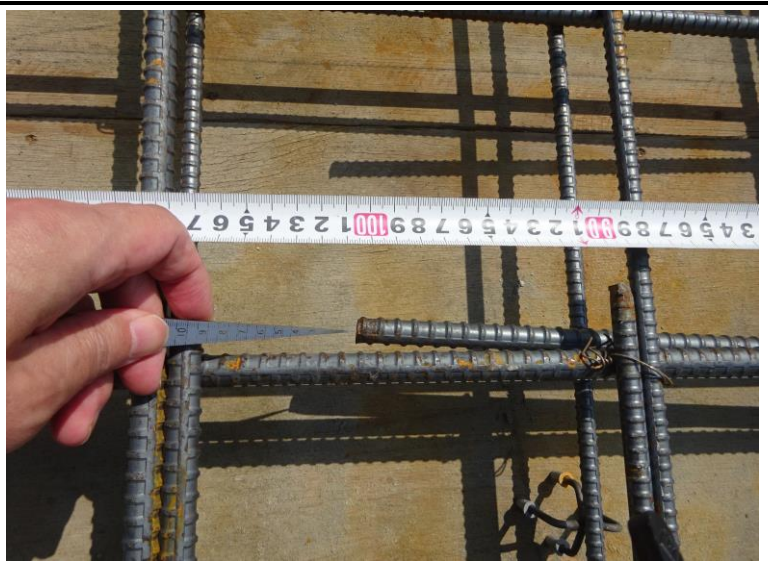

令和5年4月4日	
NO	12
場所	AB棟 (BX 4～6 通り)
部位	床スラブ (S3)
段差スラブ部の補強筋 (D13×2) が計画 (施工図) 通りに設置されていることを確認。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月4日	
NO	13
場所	AB棟 (BX 4～6 通り)
部位	床スラブ (S3)

段差スラブ部の上端筋の定着長さ (L1 : D13×40=520mm以上) が計画 (施工図) 通りであることを確認。



令和5年4月4日	
NO	14
場所	AB棟 (BX 4～6 通り)
部位	床スラブ (S3)

段差スラブ部 (浮型枠下部) のスラブ上面の鉄筋かぶり厚さ (20mm以上) が確保される状況であることを確認。




令和5年4月4日	
NO	15
場所	AB棟 (BX 4～6 通り)
部位	床スラブ (S3)

床面スリーブ貫通部 (梁際位置) には、計画 (施工図) 通りに開口補強筋が設置されていること、スリーブ廻りには鉄筋かぶり厚さ (20mm以上) が確保される状況であることを確認。

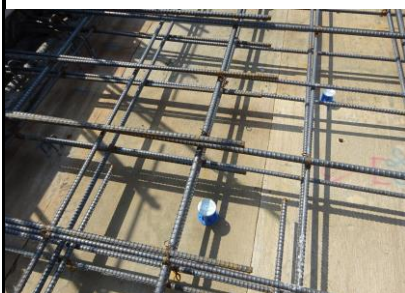


現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月4日	
NO	16
場所	AB棟 (BX 4～6 通り)
部位	床スラブ (S3)
同上。	




令和5年4月4日	
NO	17
場所	AB棟 (BX 4～6 通り)
部位	床スラブ (S3)
<p>外周部の定着用先行埋設スラブ筋の端部には、結束不良によってスラブ上面の鉄筋かぶり厚さ (20mm以上) が不足する箇所があることを指摘。</p>	





令和5年4月4日	
NO	18
場所	AB棟 (BX 4～6 通り)
部位	床スラブ (S3)
<p>上記指摘に関しては、同様箇所を含めその場にて是正が行われたことを確認済。</p>	




現況検査により認められる状況の記録


令和5年4月4日	
NO	19
場所	AB棟 (BX 4～6 通り)
部位	床スラブ (S3)

先行埋設スラブ筋との重ね継手長さ (L1 : D13の場合、 $D13 \times 40 = 520\text{mm}$ 以上) が計画 (施工図) 通りであることを確認。




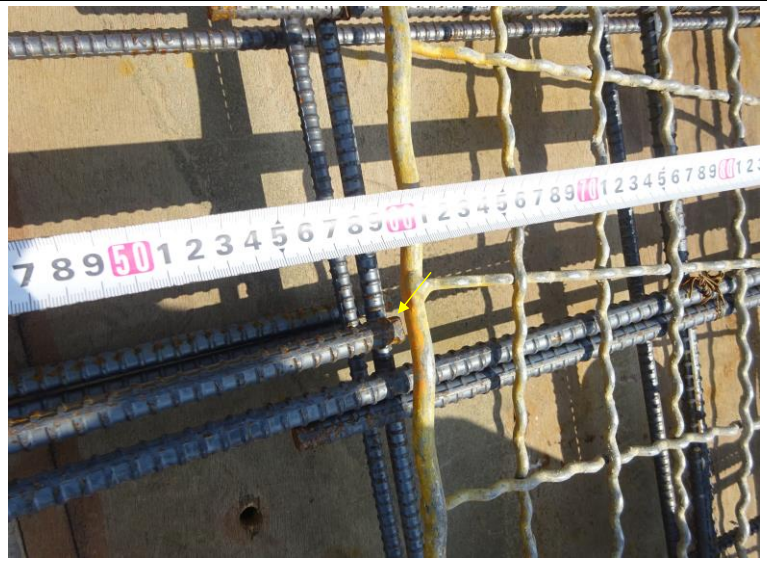

令和5年4月4日	
NO	20
場所	AB棟 (BX 4～6 通り)
部位	床スラブ (S3)

ダメ穴開口補強筋が計画 (施工図) 通りに設置されていることを確認。 (開口廻りの縦横 : 上筋2-D13、下筋2-D13) (開口廻りの斜筋 : 上筋1-D13、下筋1-D13)



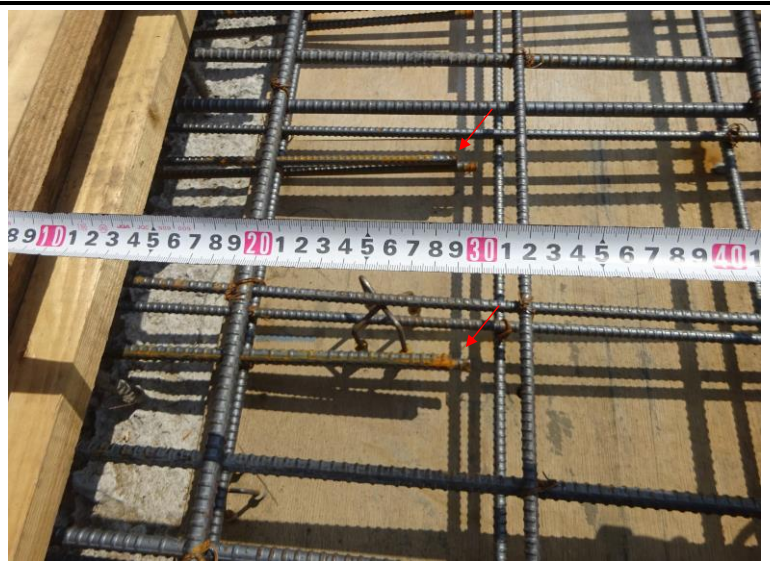

令和5年4月4日	
NO	21
場所	AB棟 (BX 4～6 通り)
部位	床スラブ (S3)

同上。各余長部の長さ : L1 ( $D13 \times 40 d = 520\text{mm}$ )

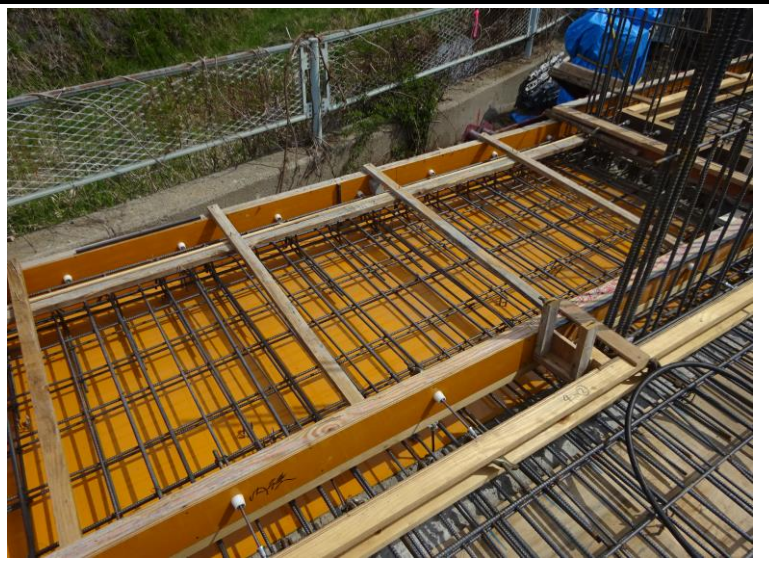



現況検査により認められる状況の記録

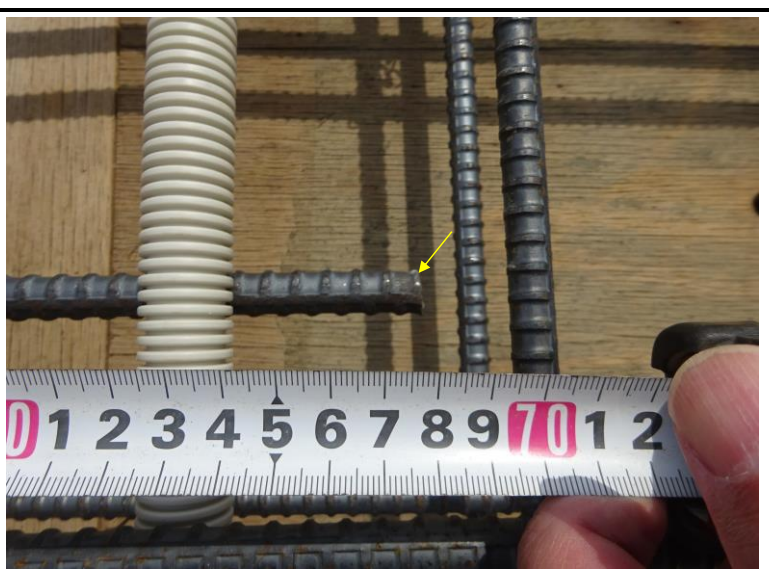
令和5年4月4日	
NO	22
場所	AB棟 (BX 4~6 通り)
部位	キャンティスラブ (CS1)
<p>キャンティスラブ (CS1) の上端主筋のS3スラブへの定着長さ (外壁内面より500mm以上) が計画 (施工図) 内容とは異なり不足していることを指摘。</p>	
	



令和5年4月5日	
NO	23
場所	AB棟 (BX 4~6 通り)
部位	キャンティスラブ (CS1)
<p>上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。(構造設計者と協議の上、S3への定着長さ500mm以上を確保した通し配筋 (D13) を各上端主筋間に追加設置し補強とした。</p>	
	



令和5年4月5日	
NO	24
場所	AB棟 (BX 4~6 通り)
部位	キャンティスラブ (CS1)
同上。	
	



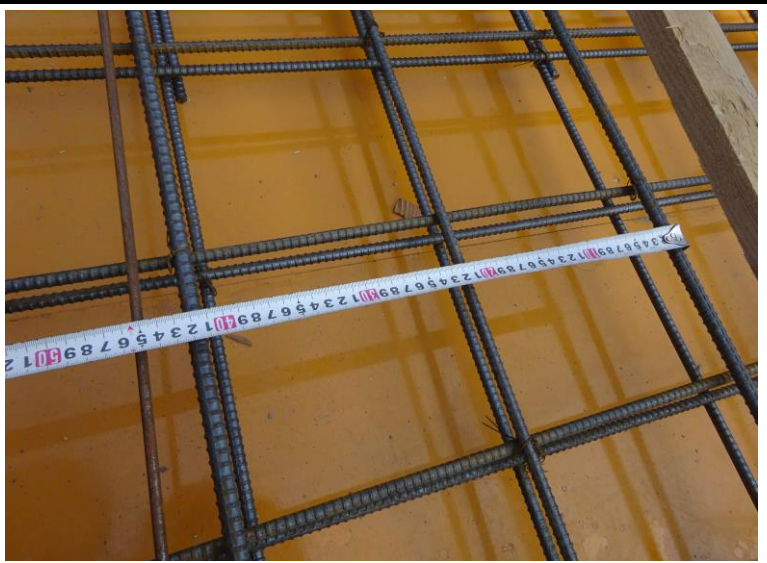


現況検査により認められる状況の記録

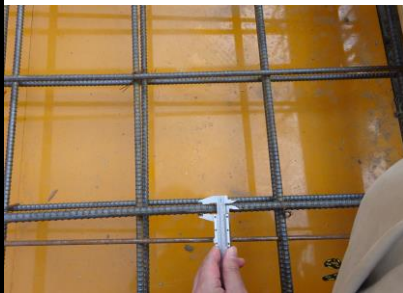
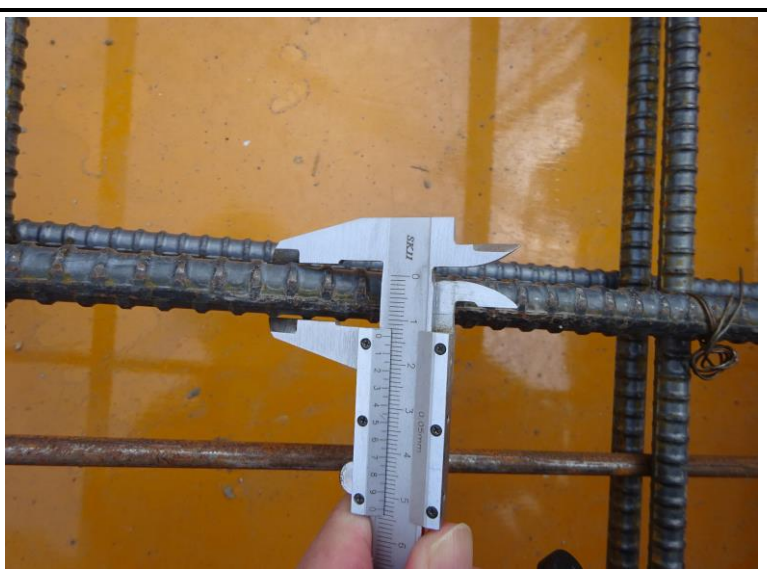
令和5年4月4日	
NO	25
場所	AB棟 (BX 2~4 通り)
部位	キャンテイスラブ (CS 1)
BX 2~4 通りのキャンテイスラブ (CS 1) の配筋組状況。	




令和5年4月4日	
NO	26
場所	AB棟 (BX 2~4 通り)
部位	キャンテイスラブ (CS 1)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋 (主筋：短辺方向) D10・D13@200mmチドリ	

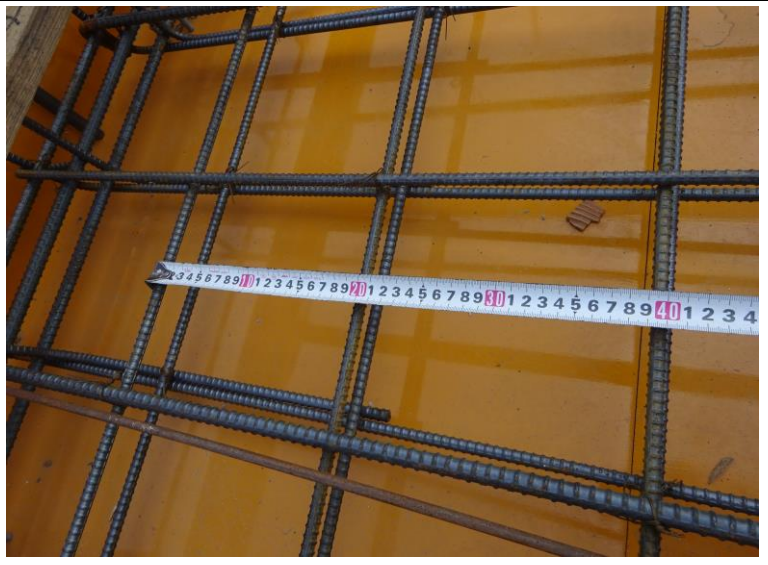



令和5年4月4日	
NO	27
場所	AB棟 (BX 2~4 通り)
部位	キャンテイスラブ (CS 1)
同上。	

現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月4日	
NO	28
場所	AB棟 (BX 2~4 通り)
部位	キャンティスラブ (CS 1)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋 (配力筋: 長辺方向) D10@200mm	



令和5年4月4日	
NO	29
場所	AB棟 (BX 2~4 通り)
部位	キャンティスラブ (CS 1)
バルコニー端部の立上がり部分の幅が、計画 (施工図) の内容 (幅200mm) に20mm不足していることを指摘。(B棟共通事項)	



令和5年4月5日	
NO	30
場所	AB棟 (BX 2~4 通り)
部位	キャンティスラブ (CS 1)
上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。(B棟共通事項)	

